高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　国語　科目 現代の国語

教　科： 国語　　科　目： 現代の国語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 現代の国語 （第一学習社） ）

教科　国語　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】日常生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに，言語感覚を養い，国語の大切さを自覚し，国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
「生きもの」として生きる(中村　桂子) 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明する。 筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書く。	・指導事項 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「生きもの」として生きる(中村　桂子) ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	3
「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書く。	・指導事項 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「本当の自分」幻想（平野啓一郎） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	砂に埋もれたル・コルビュジエ（原田マハ） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 ・本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとする。	・指導事項 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…砂に埋もれたル・コルビュジエ（原田マハ） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとしている。	○	○	○	3
	話し方の工夫 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとする。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとする。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとする。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。	**・指導事項** **・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。** **・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。** **・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。** **・教材…話し方の工夫** **・一人１台端末の活用　等**	○			**【知識及び技能】** **・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。** **・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。** **【学びに向かう力、人間性等】** **・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。** **・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。** **・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。** **・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。**	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	・指導事項 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…水の東西（山崎正和） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	4

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
論理分析【対比】 「間」の感覚（高階秀爾） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとする。	・指導事項 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材…「間」の感覚（高階秀爾） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	○	○	○	4
待遇表現 【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使用する。	**・指導事項** **・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。** **・敬語表現が選択される視点を理解する。** **・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。** **・教材…待遇表現** **・一人１台端末の活用　等**	○			**【知識及び技能】** **・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。** **【学びに向かう力、人間性等】** **・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。**	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
論理分析【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二・三」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、「いる」と「ある」の違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。	・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材…日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二・三」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、「いる」と「ある」の違いを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	無彩の色（港千尋） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明する。 ・本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深める。	・指導事項 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…無彩の色（港千尋） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。 ・本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	3
	論理的な表現 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使用する。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫する。 ・読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合う。	**・指導事項** **・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。** **・説得力を意識した表現の仕方について理解する。** **・教材…論理的な表現** **・一人１台端末の活用　等**	○			**【知識及び技能】** **文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使っている。** **主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。** **・読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫している。** **【学びに向かう力、人間性等】** **・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。**	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	現代の「世論操作」（林香里） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	・指導事項 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…現代の「世論操作」（林香里） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
	フェアな競争（内田樹） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。	・指導事項 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…フェアな競争（内田樹） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。	○	○	○	3
	スピーチで自分を伝える 【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を検討する。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 ・話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げ深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行う。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そう。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用し評価を行う。	・指導事項 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・教材…スピーチで自分を伝える ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を検討している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。	○	○	○	4
	書き方の基礎レッスン 【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使う。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使う。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書く。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぶ。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	・指導事項 ・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。 ・教材…書き方の基礎レッスン ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使っている。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○		○	4
	定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
3学期	夢十夜（夏目漱石） 文学のしるべ 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとする。	・指導事項 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…夢十夜（夏目漱石） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとしている。	○	○	○	3
	論理分析【推論】 AIは哲学できるか（森岡正博） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。	・指導事項 ・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材 AIは哲学できるか（森岡正博） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	○	○	○	3
	日本の労働問題に関わる資料を読み比べる 【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめる。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめる。	・指導事項 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことをまとめる。 ・文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・図表等を読み、理解したことをまとめる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。 ・教材…日本の労働問題に関わる資料を読み比べる ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとする。	○	○	○	3

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
相手に伝わる案内をする 【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴などを踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解し使用する。 ・情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じる。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話す。 ・積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価を行う。	・指導事項 ・目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 ・相手に配慮しながら案内する方法を理解する。 ・相手や場の状況を押さえて案内することができる。 ・教材…相手に伝わる案内をする ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴などを踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解して使っている。 ・情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価しようとしている。	○	○	○	4
合意形成のための話し合いを行う 【知識及び技能】 ・分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解し使用する。 ・情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成を工夫する。 ・資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 ・話し合いを振り返り、評価する。 ・話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解する。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出す。 ・積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価を行う。	・指導事項 ・話し合いの進め方のルールを理解する。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 ・教材…合意形成のための話し合いを行う ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 ・分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解して使っている。 ・情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成を工夫している。 ・資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 話し合いを振り返り、評価している。 ・話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 ・積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価しようとしている。		○	○	4
定期考査						○	○		1
								合計	70

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　国語　　科目 言語文化

教　科： 国語　　科　目： 言語文化　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 言語文化 （第一学習社） ）

教科　国語　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】日常生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに，言語感覚を養い，国語の大切さを自覚し，国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
	古文の学習 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。	・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・教材‥古文の学習 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。		○	○	2
	児のそら寝 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材‥児のそら寝 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	○	○	○	4
	羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとする。	・指導事項…下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・教材…羅生門（芥川龍之介） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取っている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	漢文の学習 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深める。	・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材　漢文の学習 ・一人１台端末の活用　等			○	**【知識及び技能】** **・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。** **・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。** **【思考力、判断力、表現力等】** **我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解している。** **【学びに向かう力、人間性等】** **これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。**	○	○	○	3
	訓読に親しむ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	・指導事項 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・教材　訓読に親しむ漢文を読むために ・一人１台端末の活用　等			○	**【知識及び技能】** **・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。** **・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。** **【学びに向かう力、人間性等】** **これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。**	○	○	○	3
	絵仏師良秀 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉える。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 ・教材…絵仏師良秀 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	○	○	○	4
	漁父之利　狐借虎威　　蛇足 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	・指導事項 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　漁父之利　狐借虎威、蛇足 ・一人１台端末の活用　等			○	**【知識及び技能】** **・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。** **・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。** **【学びに向かう力、人間性等】** **故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。**	○	○	○	2
	定期考査									1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	伊勢物語 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。	・指導事項 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。 ・「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 ・教材…伊勢物語 〔歴史の窓〕 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	6
	完璧（十八史略） 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明する。	・指導事項 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取る。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「澠池の会」と読み比べ、課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・「完璧」の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　完璧（十八史略） ・一人１台端末の活用　等			○	**【知識及び技能】** **・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。** **・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。** **・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取っている。** **【学びに向かう力、人間性等】** **・積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明しようとしている。**	○	○	○	4
	鵞のうへ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合う。	・指導事項 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 ・情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・教材…鵞のうへ ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。		○	○	2
	一つのメルヘン 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解する。	・指導事項 ・詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。 ・象徴的な表現を読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・教材…一つのメルヘン ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解しようとしている。		○	○	2
	定期考査									1

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
徒然草 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。	・指導事項 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「花は盛りに」では課題に応じて調査する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・教材…徒然草 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	4
古今和歌集 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・掛詞・縁語・見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、理知的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 ・教材　古今和歌集 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・掛詞・縁語・見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉えている。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	○	○	○	3
言語活動　古典の和歌を現代の言葉で書き換える 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 ・文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換える。	・指導事項 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材　言語活動　古典の和歌を現代の言葉で書き換える ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えようとしている。	○	○	○	3
定期考査									1
平家物語 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。	・指導事項 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 ・教材…平家物語 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	こころの帆 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しむ。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材…こころの帆 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。	○	○	○	4
	言語活動 折句を用いて短歌を作る 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作する。	・指導事項 ・折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 ・我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材…言語活動 折句を用いて短歌を作る ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。	○	○	○	3
	城の崎にて（志賀直哉） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとする。	・指導事項…三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。 ・教材…城の崎にて（志賀直哉） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。	○	○	○	5
	唐詩の世界 【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明する。	・指導事項 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・教材　唐詩の世界 ・一人１台端末の活用　等			○	**【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。**	○	○	○	2
	定期考査									1
										合計 70

年間授業計画　新様式

府中西　高等学校 令和6年度（ 1 学年用） 教科　　地理歴史　科目 歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1,3,8組：足立）（2,4,5,7組：吉田）（6組：本城）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 新撰歴史総合　東京書籍　）

教科　地理歴史　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】歴史の変化に関わる諸事象について、相互的な視野から捉え、歴史を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解できるようにする。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	＜結びつく世界と日本の開国＞ ・18世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解させる。 ・市民革命から国民国家の誕生の経過を理解させる。 ・日本の開国とその経過を理解させる	・18世紀のアジアと日本の開国の経過を重点的に指導 ・小テスト	・アジアの国々を結んでいたアジア域内貿易のあり方について追究しようとしている。 ・アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究しようとしている。 ・日本の開国の経過理解している。	○	○	○	5
	＜国民国家と明治維新＞ ・明治維新・日本の産業革命について理解させる。 ・帝国主義の芽生えと変容する東アジア情勢について理解させる	・明治維新について重点的に指導する。 ・小テスト	・日清戦争の原因・過程・結果を考察し、その後の日本の台湾・朝鮮の統治について追究しようとしている。 ・条約改正の経過を理解し、日本の近代化につて追求しようとしている ・日清戦争と日露戦争のつながりを理解しようとし、現代社会とのつながりを探求しようとしている	○	○	○	10
	中間考査						
	＜総力戦と社会運動＞ ・第一次世界大戦の経過と戦後のヴェルサイユ体制について理解させる ・アジアのナショナリズムの高まりについて理解させる ・大衆の社会運動の高まりと政治参加について理解させる	バルカン半島の複雑な状況を理解し、その影響と第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察させ、総力戦による社会の変化を理解させる。	・第一次世界大戦後、どのように世界平和を目指したか、そしてその問題点はなんだったかを追求しようとしている。 ・大衆の社会運動の高まりが政治にどのような影響を与えたかを理解している。そして主権者意識を高めようとしている。	○	○	○	10
	＜経済危機と第二次世界大戦＞ ・世界恐慌に至った経過やその影響について理解させる。 ・ファシズムがどのように芽生えたのかを理解させる。 ・第二次世界大戦への経過を理解させる。	第一次世界大戦が終焉した1919年から世界恐慌の発生の1929年までの10年間の世界平和の実現のための動きから、1929年から1939年第二次世界大戦発生の10年の動きを比較しながら説明していく。また経済の混乱が大戦にどのように影響したかを考察させる。	・世界恐慌がファシズムの芽生えにどのように影響したのかを理解きるようにする。 ・第二次世界大戦中の日本について深く理解しようとしている。	○	○	○	10
	期末考査						
2学期	＜冷戦と世界経済＞ ・冷戦下のイデオロギー対立の構図を理解させる。 ・冷戦の影響が現代にも続いていることを理解させる	東西の陣営がどのように勢力を拡大していったのかそれぞれ説明していく。 西側陣営が各地に集団防衛機構を構築した目的を理解させ、東側陣営がワルシャワ条約機構を築いた背景を理解させる。	・資本主義、共産主義のそれぞれの内容や問題点を中立的な立場で理解しようとしている。 ・現代社会と歴史についての関連を探求しようとしている	○	○	○	10
	＜日本の戦後復興＞ ・高度経済成長の経過や、そこに至った様々な要因や世界経済との関係を理解させる。 ・占領体制の変化を対米関係の視点から深く理解させる。	戦後の日本の占領政策がの現代社会の枠組みとなったことを実感させられるような説明をしていく。	・高度経済成長期が日本国民の生活に与えた影響を考察することができる。 ・冷戦の影響で占領政策の転換が行われた背景について探求することができる。	○	○	○	10
3学期	＜世界秩序の変容と日本＞ ・韓国・中国との国交正常化の過程を比較して、その共通点や相違点などを理解させる。 ・日韓基本条約・日中共同声明の史料を読み、それぞれの内容を理解し、その後の課題について理解させる。	混とんとする現代の東アジア情勢を冷戦終結前後に起こった運動がどのような影響を与えたのかを理解させる。	・韓国・中国との国交正常化の過程を比較して、その共通点や相違点などを考察している。 ・日韓基本条約・日中共同声明の史料を読み、それぞれの内容を理解し、その後の課題について表現している。	○	○	○	10
	＜現代社会と私たち＞ ・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察させる。 ・人間のもつ基本的人権を理解し、差別の問題にも着目し追究させる	グループワークなどを適宜行い、自分たちの身近な体験や生活がグローバル化とどのような関係性があるのかを実感させる。 特に情報化社会の利便性と課題を理解させ、情報化社会で安心・安全に生きていくための対応を考察させる。	・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察できる。 ・人間のもつ基本的人権を理解し、差別の問題にも着目し追究できる。	○	○	○	5 合計 70

府中西　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科 数学　　科目 数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１組：杉浦）（２組：杉浦）（３組：相馬）（４組：相馬）（５組：鈴木）（６組：杉浦）（７組：井野）（８組：尾崎）

使用教科書：（ 数研出版　新編数学Ⅰ　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、様々な事象を数学的に表現し処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を理論的に考察する力を身に付け、表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学的論拠に基づいて判断しようとする、また、問題を考察し評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について理論的に考察し表現する力、事象を的確に表現し、表や式，グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　数と式 第1節 式と計算　第2節 実数 【知識及び技能】 二次式の展開と因数分解ができる 【思考力、判断力、表現力等】 式を多面的にとらえ適切に変形できる 【学びに向かう力、人間性等】	・整式の加法・減法 ・2次式の展開と因数分解 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 正確に整式の処理が出来る 【思考・判断・表現】 問題に必要な式変形を考え、計算できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
	第1章　数と式 第3節　1次不等式 【知識及び技能】 不等式の性質を理解し、1次不等式が解ける 【思考力、判断力、表現力等】 1次不等式を解く方法を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】	・1次不等式の性質 ・1次不等式の解法 ・絶対値を含む方程式・不等式の解法	【知識・技能】 1次不等式が解ける 【思考・判断・表現】 問題に必要な式変形を考え、処理できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	9
	第3章　2次関数 第1節　2次関数とグラフ 【知識及び技能】 2次関数のグラフが正確にかける。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の式とグラフの関係を多面的に考察できる 【学びに向かう力、人間性等】	・2次関数のグラフ(5種類の式の形) ・グラフの平行移動・対称移動	【知識・技能】 2次関数のグラフがかける 【思考・判断・表現】 式とグラフの関係を理解し、問題解決に必要な事柄を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第3章　2次関数 第2節　2次関数の値の変化 第3章　2次方程式と2次不等式 【知識及び技能】 2次関数の最大・最小値を求められる 2次不等式がとける 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に捉え問題を解決できる 【学びに向かう力、人間性等】	・2次関数の最大値・最小値 ・2次関数の決定 ・2次不等式の解法	【知識・技能】 2次関数の最大値・最小値が求められる 2次不等式がとける 【思考・判断・表現】 与えられた条件から適切な解法を考察しできる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
	第4章　図形と計量 第1節　三角比 第2節　三角比への応用 【知識及び技能】 三角比の値が求められる。正弦定理・余弦定理を理解し、利用できる 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に捉え問題を解決できる 【学びに向かう力、人間性等】	・鋭角の三角比 ・鈍角の三角比 ・正弦定理・余弦定理	【知識・技能】 鋭角・鈍角の三角比が求められる 正弦定理・余弦定理を用いて、三角形の要素を求められる 【思考・判断・表現】 与えられた条件から適切な解法を考察しできる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第4章　図形と計量 第2節　三角比への応用 【知識及び技能】 三角形の面積を三角比を利用して求められる 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に捉え問題を解決できる 【学びに向かう力、人間性等】	・三角形の面積 ・三角比を用いた空間図形の解法	【知識・技能】 三角比を用いて、三角形の面積が求められる 【思考・判断・表現】 与えられた条件から適切な解法を考察しできる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	5
	第5章　データの分析 【知識及び技能】 データの処理ができる 【思考力、判断力、表現力等】 データを考察することができる 【学びに向かう力、人間性等】	・データの整理 ・分散 ・標準偏差 ・散布図 ・相関係数	【知識・技能】 データの値を整理し、様々な値を求めることができる 【思考・判断・表現】 データを処理し、特徴を理解したり考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	10
	第2章　集合と命題 【知識及び技能】 命題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 命題について適切な方法で証明ができる 【学びに向かう力、人間性等】	・命題と条件 ・必要条件と十分条件 ・逆・裏・対偶 ・背理法	【知識・技能】 必要条件・十分条件を理解し逆・裏・対偶が表現できる 【思考・判断・表現】 適切な方法で証明ができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
							91

府中西 高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　数学　科目　数学Ａ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ａ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１組：重野）（２組：相馬）（３組：重野）（４組：重野）（５組：相馬）（６組：相馬）（７組：重野）（８組：重野）

使用教科書：（ 数研出版　新編数学Ａ ）

教科　数学　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、様々な事象を数学的に表現し処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を理論的に考察する力を身に付け、表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学的論拠に基づいて判断しようとする、また、問題を考察し評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ａ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	場合の数や確率を多面的に考えたり目的に応じて適切に応用したりする力、図形の性質や計量について理論的に考察し表現する力、整数問題と生活を関連付けて考察する力を養う。	粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　場合の数と確率 第1節　場合の数 【知識及び技能】 集合の要素や順列、組合せの意味 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数を多面的にとらえ適切に変形できる 【学びに向かう力、人間性等】	・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ	【知識・技能】 正確に場合の数の処理が出来る 【思考・判断・表現】 問題に必要な条件を考え、計算できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	第1章　場合の数と確率 第2節　確率 【知識及び技能】 確率の意味 【思考力、判断力、表現力等】 確率を求める方法を多面的に考察できる 【学びに向かう力、人間性等】	・事象と確率 ・確率の基本性質 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率	【知識・技能】 確率を計算できる。 【思考・判断・表現】 問題解決に必要な事柄を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第2章　図形の性質 第1節　平面図形 【知識及び技能】 三角形と円に関する基本的性質 【思考力、判断力、表現力等】 図形の性質について論理的に考察できる 【学びに向かう力、人間性等】	・三角形の辺の比と3心 ・メネラウスの定理とチェバの定理 ・円に内接する図形 ・円と直線	【知識・技能】 図形の性質が理解できている。 【思考・判断・表現】 与えられた条件から適切な解法を考察しできる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	第2章　図形の性質 第2節　空間図形 【知識及び技能】 空間図形に関する基本的性質 【思考力、判断力、表現力等】 図形の性質について論理的に考察できる 【学びに向かう力、人間性等】	・2直線の関係 ・2平面の関係 ・多面体 ・オイラーの多面体定理	【知識・技能】 直線と平面の位置関係を理解できる。 【思考・判断・表現】 与えられた条件から適切な解法を考察しできる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第3章　数学と人間の活動 【知識及び技能】 数量や図形と人間の活動との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 数量や図形に関する概念を発展させ考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・公約数と公倍数 ・整数の割り算 ・ユークリッドの互除法 ・一次不定方程式	【知識・技能】 必要な計算ができる。 【思考・判断・表現】 与えられた条件から適切な解法を考察しできる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
							51

年間授業計画　新様式

府中西　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　理科　　科目 化学基礎

教　科：　理科　　科　目：　化学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：　(1.3.6.7.8組：小島賢次)　(2.4.5組：橋山靖)　(　組：　)　(　組：　)

使用教科書：（ 高等学校　化学基礎　（第一学習社）　）

教科　理科　の目標：　自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【 知　識　及　び　技　能 】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、化学的に探求しようとしている。

科目　化学基礎　の目標：　物質とその変化に関わり、観察・実験を通して、化学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、化学的に探求しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。	化学と人間生活	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○		○	2
	身近な物質を取り上げ、混合物の分離などから、実験の基本操作を身につける。単体や化合物について理解する。 粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。	物質の成分 物質の構成元素 状態変化と熱運動	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	5
	原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。 元素の周期律及び電子配置と周期表との関係について理解する。 イオンの生成を理解する。	原子の構造 イオン 元素の相互関係	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	8
	イオン結合が静電気的な引力によることや、イオン結合でできた物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解する。また、それらの物質の性質を理解する。 金属結合の仕組みとそれらの物質の性質を理解する。	イオン結合 共有結合 金属結合 結晶の比較 結晶と単位格子	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	10
2学期	粒子の数にもとづく量の表し方である物質量の概念を導入し、物質量と質量、気体の体積の関係について理解する。 化学反応に関する実験などを行い、反応式が反応に関与する物質と量的関係を表すことを理解する。	原子量・分子量と式量 物質量 溶解と濃度	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	10
		化学変化と化学反応式 化学反応の量的関係 化学変化における諸法則	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	15
3学期	酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係について理解する。	酸と塩基 水素イオン濃度 中和と塩 中和滴定	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	10
	酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。	酸化と還元 酸化剤と還元剤の反応 酸化還元の量的関係 金属のイオン化傾向 電池 金属の製錬 電気分解	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	10
							合計 70

府中西　高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　理科　　科目 生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

使用教科書：（ 高等学校　新課程　生物基礎　（第一学習社）　　）

教科　理科　の目標：　自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するするために必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現象を理解し、観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　生物基礎　の目標：　生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　生物の特徴 １．生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 観察１　さまざまな生物を観察して共通する特徴を探そう 実験１　DNAの抽出 ②生物の共通性の由来 資料１　脊椎動物を例に生物が共通する特徴をもつ理由を考えよう	生物の共通性と多様性 ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	2
	２．生物とエネルギー ①生物とエネルギー 資料２　光の有無が植物の生育に与える影響について考えよう ②代謝とATP 資料３　ATPの役割について考えよう ③代謝と酵素 実験２　酵素カタラーゼの働き	細胞とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
	第2章　遺伝子とその働き １．遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報とDNA 資料４　DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴について考えよう 演習１　DNAの分子モデルを作製してみよう ②DNAの複製と分配 資料５　DNAの複製のしくみを考えよう 演習２　DNAの半保存的複製を再現してみよう 観察２　細胞周期の各時期にかかる時間の推定	・ＤＮＡが全ての生物が共通してもつ遺伝子の本体であることを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	8
	２．遺伝情報とタンパク質 ①遺伝情報とタンパク質 資料６　DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考えよう ②転写と翻訳 演習３　mRNAが指定するアミノ酸配列を読み取ってみよう ③遺伝子とゲノム 観察３　だ腺染色体の観察	・ＤＮＡの遺伝情報はＲＮＡを経て、タンパク質となることを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
2学期	第3章　ヒトのからだの調節 １．情報の伝達と体内環境の維持 ①恒常性と神経系 実験３　踏み台昇降運動を行って，心拍数の変化を測定しよう ②恒常性と内分泌系 ③体内環境を調節するしくみ 資料７　血糖濃度とホルモン濃度の関係を考察しよう 資料８　血糖濃度の調節と自律神経系の関わりについて考えよう ④血液凝固	体液には血液・リンパ液・組織液があり、体内環境を形成していることを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
	２．免疫 ①生体防御 資料９　白血球の働きについて考えよう 観察４　食作用の観察 ②自然免疫 ③獲得免疫 資料10　同じ感染症にかかりにくい理由を抗体産生量の変化から考えよう 演習４　免疫の流れを説明してみよう ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活	・生体防御の仕組みについて様々なものがあることを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
3学期	第4章　植生と遷移 １．植生と遷移 ①植生と環境の関わり 観察５　植生と光・土壌の関係を調べよう 観察６　陽葉と陰葉の断面の観察 ②遷移のしくみ 資料11　伊豆大島の調査結果から遷移の要因を考察しよう ２．バイオーム ①遷移とバイオーム 資料12　バイオームの分布を決める要因について考えよう(1) 資料13　バイオームの分布を決める要因について考えよう(2)	・陸上には気候に応じて様々な植生が存在していることを知り、その植生が不変でないことを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
	第5章　生態系とその保全 １．生態系と生物の多様性 ①生態系の成り立ち 観察７　土壌生態系を構成する生物とその環境について調べよう 観察８　環境の違いと種の多様性に関連があるか調べよう ②生態系における生物どうしの関わり 資料14　上位の栄養段階の生物が生態系に与える影響について考えよう	・生態系は生物と非生物的環境からなることと、その中で炭素や窒素などの物質が循環していることを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10 合計 70

府中西　高等学校 令和６年度（１学年用）教科　　保健体育　　科目　体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１～８組：坂本）（1～８組：荒木）（1～８組：野口）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館）　　）

教科　保健体育　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目　体育　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	体つくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	・体ほぐしの運動 緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動を行い、気づいたり関わりあったりする。 ・実生活に生かす運動の計画 運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めるための運動の計画を立てて取り組む。	（知識・技能）定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながることを理解できる。 （思考・判断・表現）仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 （態度）体つくり運動の学習に自主的に取り組み、運動計画を立てるなどの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	6
	陸上競技（三種競技） 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	（走）ハードル走 （投）ジャベリックスロー （跳）走り幅跳び の三種目についての技能の習得と記録会	（知識・技能）陸上競技で用いられる技術の名称と，記録向上につながる動きのポイントを理解することができた。 （思考・判断・表現）動きの習得に適した練習方法を選び，話し合い，自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。 （態度）危険を理解して安全に留意して実施し，勝敗を受け入れ，ルールやマナーを守って活動することができた。	○	○	○	6
	武道（柔道・剣道） 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できるようにする。	・立礼、座礼を含む剣道特有の礼法を習得する。 ・竹刀の持ち方、中段の構え、足さばき（送り足）を体得する。 ・その場での面の打ち方、足さばきを使っての面の打ち方を体得する。	（知識・技能）武道を学ぶことの意義，礼法や技の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 （思考・判断・表現）伝統的な行動をする場面で，よりよい所作について自分や仲間の活動を振り返ることができた。 （態度）伝統的な行動を大切にし，相手を尊重し称え，助言することで信頼関係を深め，互いに高め合うことができた	○	○	○	10
	器械運動 技ができる楽しさや喜びを味わい、運動の観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする。	回転系 接転技群　前転グループ 開脚前転、倒立前転、伸膝前転 接転技群　後転グループ 開脚後転、伸膝後転、後転倒立 ほん転技群 倒立	（知識・技能）器械運動の技の名称と合理的な動き方のポイント，系統ごとの共通性を理解することができた。 （思考・判断・表現）技に必要な準備／補助運動を選び，体調や環境に応じた適切な練習方法などについて振り返ることができた。 （態度）一人ひとりの課題や挑戦を認め，仲間を称え助言することで信頼関係を深め，互いに高め合うことができた。	○	○	○	10
	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたプルとリズミカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・５０～２００m程度の距離を泳ぎながらのコンビネーション	（知識・技能）水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てることができる。 （態度）一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	8
2学期	球技（テニス） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作（サーブ・ストローク） ・作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	10
	武道（柔道・剣道） 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できるようにする。	・小手、面、胴の基本打突を送り足や踏み込み足でできるようにする。 ・剣道具を装着して、実際に小手面胴を打ち込む ・打突する人は真剣に、打突される側は打ちやすいように等、相手を考えた行動をとれるようにする。	（知識・技能）武道を学ぶことの意義，礼法や技の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 （思考・判断・表現）伝統的な行動をする場面で，よりよい所作について自分や仲間の活動を振り返ることができた。 （態度）伝統的な行動を大切にし，相手を尊重し称え，助言することで信頼関係を深め，互いに高め合うことができた	○	○	○	12
	球技（ラグビー） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・基本動作であるパス/キャッチ/レシーブ/サイドステップの技術の体得 ・チームメイトと協力して動きながらパス等を継続して前進していく。 ・スペースを作り、カットイン、カットアウトなどの戦術に取り組む。	（知識・技能）ラグビーの技術や戦術，作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 （思考・判断・表現）体力や技能，性別等の違いに配慮して，仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができた。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み，練習やゲーム，チームの話し合いに積極的に参加することができた。	○	○	○	12
	体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	（知識・技能）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 （思考・判断・表現）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 （態度）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について自主的に取り組むことができる。	○	○	○	6
3学期	陸上競技（長距離走） 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようにする。	時間走と約３０００mのタイムトライアル 自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	（知識・技能）長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 （思考・判断・表現）これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 （態度）自分の役割に主体的に取り組み、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
	武道（柔道・剣道） 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できるようにする。	・小手、面、胴の基本打突を送り足や踏み込み足でできるようにする。 ・剣道具を装着して、実際に小手面胴を打ち込む ・打突する人は真剣に、打突される側は打ちやすいように等、相手を考えた行動をとれるようにする。	（知識・技能）簡易試合におけるルールや試合方法，審判や運営の仕方など，競技会のおこない方を理解することができた。 （思考・判断・表現）体力や技能の程度等の違いに配慮して，仲間とともに楽しむための練習や試合のおこない方を見つけられた。 （態度）禁止技を用いず，相手の技能の程度や体力に応じて力を加減するなどの危険予測と危険回避ができた。	○	○	○	10
							合計 105

府中西　高等学校 令和６年度（１学年用）教科　　保健体育　　科目　体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１～８組：坂本）（1～８組：都竹）（1～８組：清水）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館）　　）

教科　保健体育　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目　体育　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	体つくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	・体ほぐしの運動 緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動を行い、気づいたり関わりあったりする。 ・実生活に生かす運動の計画 運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めるための運動の計画を立てて取り組む。	（知識・技能）定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながることを理解できる。 （思考・判断・表現）仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 （態度）体つくり運動の学習に自主的に取り組み、運動計画を立てるなどの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	6
	ダンス（現代的なリズムのダンス） 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすることができるようにする。	・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊る。 ・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊る。	（知識・技能）リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 （思考・判断・表現）表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 （態度）ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	○	○	○	6
	球技（テニス） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作（サーブ・ストローク） ・作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	10
	陸上競技（三種競技） 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	（走）ハードル走 （投）ジャベリックスロー （跳）走り幅跳び の三種目についての技能の習得と記録会	（知識・技能）陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 （態度）危険を理解して安全に留意して実施し、勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができる。	○	○	○	10
	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたプルとリズミカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・５０～２００m程度の距離を泳ぎながらのコンビネーション	（知識・技能）水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てることができる。 （態度）一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	8
2学期	器械運動 技ができる楽しさや喜びを味わい、運動の観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする。	回転系 接転技群　前転グループ 開脚前転、倒立前転、伸膝前転 接転技群　後転グループ 開脚後転、伸膝後転、後転倒立 ほん転技群 倒立	（知識・技能）器械運動の技の名称と合理的な動き方のポイント、系統ごとの共通性を理解することができる。 （思考・判断・表現）技に必要な準備／補助運動を選び、体調や環境に応じた適切な練習方法などについて振り返ることができる。 （態度）一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	10
	ダンス（現代的なリズムのダンス） 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすることができるようにする。	・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊る。 ・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊る。	（知識・技能）リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 （思考・判断・表現）表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 （態度）ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	○	○	○	12
	球技（バレーボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返す ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	12
	体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	（知識・技能）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 （思考・判断・表現）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 （態度）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について自主的に取り組むことができる。	○	○	○	6
3学期	陸上競技（長距離走） 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようにする。	時間走と約３０００mのタイムトライアル 自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	（知識・技能）長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 （思考・判断・表現）これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 （態度）自分の役割に主体的に取り組み、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
	球技（バスケットボール・バレーボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バスケットボール・バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	10
							合計 105

年間授業計画　新様式

府中西　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　保健体育　　科目　保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1,4,5,7組：都竹）（2,3,6,8組：坂本）（1,2,3,4組取出：浅井）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館書店）　　）

教科　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】現代社会と健康について理解することができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】課題を発見し、解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを説明することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康に関するさまざまな事象や問題点について理解している。	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解することができるようにする。	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解することができるようにする。	生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2学期	喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解することができるようにする。	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解することができるようにする。	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
3学期	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解することができるようにする。	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び健康づくりが関わっていることを理解することができるようにする。	健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び健康づくりが関わっていることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3 合計 29

年間授業計画　新様式

府中西　高等学校 令和6年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　音楽Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１～８組：横井明子）

使用教科書：（「高校生の音楽１」教育芸術社　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】想像的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的はいけいなどとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	A 単元：ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、歌唱 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりの理解し、身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：歌唱 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ	○				【知識・技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声法を理解し、歌唱表現ができる。 【思考力、判断力、表現力】 歌唱縫い関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫して行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
	A 単元：器楽 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：器楽 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ		○			【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
2学期	A 単元：歌唱 【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現移動に取り組む。	・指導事項：歌唱 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ	○				【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、他者との調和を意識して歌う技能を身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	12
	A 単元：器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：器楽 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ		○			【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組むことができる。	○	○	○	10
	A 単元：創作 【知識及び技能】 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己の	・指導事項：創作 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ			○		【知識及び技能】 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫することができる。	○	○	○	12

3学期	イメージをもって創作表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。						【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組むことができる。				
	B　鑑賞 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽作品を味わう。	・指導事項：鑑賞 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ				○	B　鑑賞 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽作品を味わうことができる。	○	○	○	12 合計 66

年間授業計画　新様式

府中西　高等学校 令和6年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１～８組：町田法生）

使用教科書：（「高校生の美術１」日本文教出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】想像的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A 単元：ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、鑑賞、素描 【知識及び技能】 グレースケールの明暗表現の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 素描を行う上で必要な基礎的な事項について理解し、立方体や球体などの立体的な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明度の段階が感覚で覚えられる。	・指導事項：鑑賞、素描基礎 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ	○			○	【知識・技能】 グレースケールの明暗表現の違いが理解できる。 【思考・判断・表現】 光の方向と、調子の流れを認識し、大まかな明暗表現が始められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明暗表現にタッチの表現を組み合わせることができる。	○	○	○	4
	A 単元：素描 【知識及び技能】 素描制作における構図についての理解をスケッチを通して考える。 【思考力、判断力、表現力等】 鉛筆の使い方の工夫について、様々なタッチによる表現を試す。 【学びに向かう力、人間性等】 明度の段階が感覚で覚えられる。	・指導事項：鑑賞、素描基礎 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ	○				【知識・技能】 対象物の捉え方、構図について理解し、スケッチから本画へ取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 素描を行う上で必要な基礎的な事項について理解し、立体的な表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 鉛筆の使い方の工夫について、様々なタッチによる表現を試すことができる。	○	○	○	10
	A 単元：着彩 【知識及び技能】 自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 全体のバランスをみて調節し、完成させる。	・指導事項：着彩 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ	○				【知識・技能】 立体表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つけることができる。 【思考・判断・表現】 光の透過性や反射、テクスチャーの違いの素描表現をタッチや筆圧など様々な鉛筆の表現を組み合わせて試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	10
2学期	A 単元：着彩 【知識及び技能】 自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 全体のバランスをみて調節し、完成させる。	・指導事項：着彩 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ	○				【知識・技能】 立体表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つけることができる。 【思考・判断・表現】 光の透過性や反射、テクスチャーの違いの素描表現をタッチや筆圧など様々な鉛筆の表現を組み合わせて試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	4
	A 単元：デザイン 【知識及び技能】 日常生活でのデザインの役割を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 インテリアデザインについての理解。透視図法による空間表現。 【学びに向かう力、人間性等】 理想の空間を想像し、表現する。	・指導事項：透視図法 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ		○		○	【知識・技能】 空間表現の基礎としての透視図法における作図ができる。 【思考・判断・表現】 奥行きの等分割など様々な作図の表現を組み合わせて試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図法を理解し、空間を描くことで新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	20

	A 単元：絵画 【知識及び技能】 　自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：着彩 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ	○				【知識・技能】 　絵画表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つけることができる。 【思考・判断・表現】 2諧調化の表現方法を工夫することがき、全体のバランスを調節し、細部にこだわり丁寧に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	8
３学期	A 単元：デザイン 【知識及び技能】 日常生活でのデザインの役割を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 色彩についての理解。色相、明度、彩度をもとに配色の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩の調和、対比を考えて配色計画をする。	・指導事項：透視図法 ・教材：教科書、自校作成ﾌﾟﾘﾝﾄ		○		○	【知識・技能】 テーマを明確に伝えられるような構図・配色ができるようになる。 【思考・判断・表現】 色相、明度、彩度をもとに配色の工夫をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩の調和、対比を考えて配色計画をすることができる。	○	○	○	8 合計 64
											合計 ##

府中西高等学校 令和6 年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科： 芸術　　科　目： 書道Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 東京書籍 書道Ⅰ ）

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現をえ工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション 書写から書道へ 書写と書道の違いを理解する。用具・用材を整える。 書へのいざないとして表現と鑑賞を通して種々な書の美があることを認識する。 これから学習する書道に興味・関心を持つことができる	書写の確認 毛筆による表現と鑑賞 教科書、アンケート	○			○	書写との違いを理解して、書道についての関心度が深まったか。 道具の準備ができたか。	○	○	○	2
	漢字の書 楷書 漢字（書体）の成立と変遷を知る。楷書の基本用筆を確認しながら、特徴を理解する。古典とその臨書の意義を理解する。 臨書を通して種々な書の美があることを理解する。 新しい内容を理解しようとする姿勢と提出物である課題に主体的に取り組んでいる。	書体について 楷書（特徴・基本用筆） 臨書について 姿勢・執筆法・後かたづけの確認 教科書、書道用具		○		○	書体、楷書、古典、臨書等の専門用語の意味や語句を覚えることができたか。 古典とその臨書の意義を理解することができたか。	○	○	○	4
	漢字の書 楷書 各々の古典の時代や文化的側面と書表現の特徴を理解し、表現する。 上記の知識及び技能を通して種々の表現方法を味わうとともに、毛筆が生み出す芸術性に触れる。 臨書学習を通して表現だけにとどまらず、時代や文化的側面にも触れることで現代社会においても書の効用について考え、関心や興味が持てる。 漢字の書　楷 書（倣書）　古典 の特徴を理解し、自己の意図にあった表現ができる。各自が表現したい書風をイメージすることができる。	「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「自書告身」 「牛橛造像記」 教科書、書道用具、副教材『ペン習字の基礎』、一人１台端末の活用 古典を生かした創作（倣書） 創作カードの作成 教科書、字典、書道用具、色紙		○		○	楷書の用筆法を理解して、表現することができたか。 臨書学習を定着することができたか。 各々の古典の特徴を理解して表現することができたか。 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆との関わりについて理解し、作品の意図にあった表現ができている。 表現したい書風をイメージし、古典の味わいを残しつつ表現の工夫をすることができている。 自己表現することについて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2学期	漢字の書　行書 行書の用筆法の特徴を理解する。 内容や由来、書風、王羲之の人と書、時代背景などについて理解する。 変化豊かな表現を理解して臨書し、行書用筆に慣れる。 「蘭亭序」の内容や由来に触れ、一連の内容を想像することができる。 一つの古典を深く学習することで、より関心や興味が持てる。 変化豊かな行書用筆を学習することで、行書もしくは書道に一層興味が持てた。 原寸で臨書することによって、集中力だけでなく持続力も身についた。	行書の特徴 「蘭亭序」 教科書、書道用具、一人一台端末の活用		○		○	古典名、作者名を覚えることができたか。 行書用筆に慣れることができたか。 種々な角度から学習することで、「蘭亭序」もしくは書道に一層興味が持てたか。 原寸大で臨書する学習を通して、集中力や持続力を身につけることができたか。	○	○	○	12
	漢字の書 硬筆 硬筆でも行書用筆の特徴を捉えて、行書の字形や円滑な運筆に書き慣れる。 更に練習を重ねることで、変化豊かな運筆ができるようにする。 行書は最も日常性の高い書体であるという認識において、社会に出て役に立つので積極的に取り組むことができる。	行書の用筆・運筆 教科書、副教材『ペン習字の基礎』、 ボールペンを含む筆記用具、		○		○	硬筆でも行書用筆の特徴を捉えて、字形や円滑な運筆に書き慣れることができたか。	○	○	○	2
	漢字の書 作品制作（半切１／２） 半紙の大きさとは違った大きな紙に書くことで、臨書学習が今までとは違う視点で捉えられて一層の効果が上がる学習ができる。 作品制作のため、落款を含めたバランスを意識した構成力が必要である。 通常と違う大字書きすることで、ダイナミックな運筆など毛筆表現の魅力を体験する。	半切1／２書式について 落款について 教科書、書道用具（半紙，半切１／２）		○		○	通常より大書することで、臨書学習が一層の効果を上げることができたか。 臨書だけではなく、落款を含めたバランスを意識して構成をとることができたか。 題材を楷書か行書を自分で選択することで主体的に取り組む事ができたか。 ダイナミックな運筆など毛筆表現の魅力を体験し、一層書道に興味が持てたり、心豊かな気持ちを味わうことができたか。	○	○	○	8

3学期	仮名の書 仮名の成立と用筆法 仮名の成立や用語等を理解する。 仮名の用具・基本用筆・仮名の学習ポイントを覚えて、実践できるようにする。 「蓬莱切」を臨書するとともに、、仮名の表現を理解する。 散らし書きの構成を理解して、日本の美を味わう。 仮名の表現や日本の美を味わうとともに、日本の文化　を尊重する心情を育てる。	成立について 「蓬莱切」 用具、基本用筆、仮名単体、変体仮名、連綿、散らし書きについて 教科書、書道用具、			○	○	仮名の成立や用語等を理解して、表現することができたか。 表現を意識して、仮名の書のよさや美しさを味わって捉えている。 練習を重ねることで、仮名表現を会得し、それによる達成感を味わうことでさらに主体的に取り組むことができる。	○	○	○	8
	漢字かな交じりの書 古典を生かした表現　　創作（倣書） 漢字と仮名の調和に留意して表現することができる。 古典の特徴を各々理解し、古典を生かした創作ができる。 自分が表現したい作品の書風をイメージすることができる。 自己表現することで、自己を開放して表現することへの意欲を持つことができる。	教科書、書道用具、プリント(資料)	○			○	漢字と仮名の調和に留意して表現することができる。 古典の特徴を理解し、古典を生かした創作ができる。 自分が表現したい作品の書風をイメージすることができる。 創作することにおいて意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	4
	一年間のまとめ 提出作品を和綴じ製本 製本という技術を覚える 鑑賞を通して発見や喜びを感じることができる。 日本の文化に親しみ、心の豊かさを育むことができた。	教科書、書道用具、筆記用具、針、糸、糊				○	製本の技術を覚える。 様々な書の美の発見、表現する喜び等を感じることができる。 日本文化に親しみ、一層の興味、関心や豊かな心情へと育む。	○	○	○	2 合計 52

年間授業計画　新様式

府中西　高等学校 令和6年度（ １学年用） 教科　外国語　　科目 英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1・2組：荻久保、尾本、立花）（3・4組：尾本、立花、三山）（5・6組：立花、三山、荻久保）（7・8組：荻久保、三山、尾本）

使用教科書：（ Power On English Communication Ⅰ　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】　英語の発音や語彙、表現・文法・言語の働きなどの理解を深め、適切に活用する技能をつける。

【思考力、判断力、表現力等】　目的や場面に応じて適切な方法でコミュニケーションをとることができる。

【学びに向かう力、人間性等】　英語の背景にある文化を理解し、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語い、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[やり]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	［題材内容］ 外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムを紹介するALTの話を理解する。 ［言語の働き］ 質問する，説明する，発表する	Lesson 1 Japan’s New Tourism ［言語材料］ 動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形 [その他副教材]・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)	○	○	○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考査問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。	○	○	○	10
	［題材内容］ 生き物が光る理由や，その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表を理解する。 ［言語の働き］ 質問する，説明する，理由を述べる，発表する	Lesson 2 Light from Creatures ［言語材料］ 受け身，現在完了形，現在完了進行形 [その他副教材]・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)	○	○	○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考査問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。	○	○	○	10
	中間考査		○	○			○		○	○		1
	［題材内容］ スポーツクライマーである野口選手のインタビューを理解する。 ［言語の働き］ 質問する，説明する，理由を述べる，助言する，紹介する，発表する	Lesson 3 Routes to the Top ［言語材料］ 動名詞，不定詞，S＋V＋O［that節］ [その他副教材]・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)	○	○	○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考査問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。	○	○	○	10
	題材内容］ 日本のマンガの形式やその翻訳に関する留学生による発表を正しくとらえる。 ［言語の働き］ 質問する，助言する，説明する，賛成する，理由を述べる	Lesson 4 Left to Right, Right? ［言語材料］ 後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級 [その他副教材]・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)	○	○	○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考査問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。	○	○	○	10
	期末考査		○	○			○		○	○		1
2学期	［題材内容］ ザンビアのバナナの茎から作られるバナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義ぎ、知識を深める。 ［言語の働き］ 質問する，説明する，理由を述べ	Lesson 5　Banana Paper Lesson 6　Patterns in Human Behavior ［言語材料］関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S＋seem＋to不定詞、It＋be動詞＋形容詞＋that節，S＋V［be動詞以外＋C］，S＋V＋O＋C［形容詞］ [その他副教材]・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)	○	○	○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考査問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。	○	○	○	16
	［題材内容］ プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文を読み、まとめる。 ［言語の働き］ 質問する，理由を述べる，描写する，説明する，発表する，報告する	Lesson 7 No Plastic or No Future ［言語材料］ 関係副詞where，関係副詞when，関係代名詞what [その他副教材]・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)	○	○	○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考査問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。	○	○	○	16
3学期	［題材内容］ イギリス人ALTによるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表を理解する。 ［言語の働き］ 質問する，説明する，報告する，発表する	Lesson 8 Oh My Cod! ［言語材料］ 現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形 [その他副教材]・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)	○	○	○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考査問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。	○	○	○	10
	［題材内容］ 世界中の若者の間で人気が出てきているeスポーツの実況中継を正しくとらえる。 ［言語の働き］ 質問する，理由を述べる，意	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? ［言語材料］ S＋V［知覚］＋O＋［現在分詞，原形不定詞］，S＋V［使役］＋O＋C［原形不定詞］，S＋V＋O_1＋O_2［ if などの節］ [その他副教材]・Focus On Listening Elementary ・速読英単語(入門編)	○	○	○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考査問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。	○	○	○	11 合計 95

年間授業計画　新様式

府中西　高等学校 令和6年度（ １学年用）　教科　外国語　　科目 論理・表現Ⅰ

教　科： 外国語　　科　目： 論理・表現Ⅰ　　単位数： 2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1組：田口・尾本）（2組：遠藤・尾本）（3組：佐藤・立花）（4組：田口・佐藤）（5組：佐藤・立花）（6組：立花・尾本）（7組：遠藤・立花）（8組：田口・尾本）

使用教科書：（ Vision Quest Logic and Expression　I　Standard　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】　英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解する。目的や場面、状況に応じて自分の意見や主張などを論理や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　目標や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、話すことや書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手などを他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとする。

科目　論理・表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。 ・英語の技能（話すこと・書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	・場面、目的、状況等に応じて、日常的、社会的な話題について、情報や考えなどを英語で的確に理解したり適切に伝えることができる。 ・自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手などを他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[やり]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・紹介についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	lesson 1　I want to introduce my new friend. 〔文法事項〕 様々な疑問文、命令文、感嘆文			○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話や発言などにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6
	・学校生活についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 2　Do you want to join our show? 〔文法事項〕 ５文型、”There+be動詞+主語”の構文			○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話や発言などにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6
	中間考査						○		○	○		1
	・旅行についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 3　I'm planning a day drip this weekend. 〔文法事項〕 基本時制			○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6
	・趣味や関心のあることについての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 4　Have you ever tried it before? 〔文法事項〕 現在完了、過去完了、未来完了			○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6
	期末考査						○		○	○		1
2学期	・将来や進路についての表現を学ぶ。　・日常生活における生徒同士の会話や、自分の感情についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	lesson 5　What do you want to do after school? Lesson6　Did you hear about the new shop? 〔文法事項〕 助動詞 受動態			○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	12
	・パーティー会場における会話や自分の感情についての表現を学ぶ。　・スポーツをしている時の会話や健康に関する表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 7　I'm happy to have you with us. Lesson 8　What sport do you like playing? 〔文法事項〕 不定詞　動名詞			○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	12
3学期	・メディアを通じたコミュニケーションや、情報を加えて詳しく表現する方法を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	lesson 9　Digital media has come a long way. 〔文法事項〕 分詞			○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。	○	○	○	6
	・異文化紹介における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現するこ	Lesson 10　That's why I decided to go back. 〔文法事項〕 関係詞			○	○	○	【知識・技能】主に考査により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼン	○	○	○	6 合計

	とができるようになる。						テーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。					62

府中西　　高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：　　科　目：　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

使用教科書：（ 高等学校　情報Ⅰ　第一学習社　　）

教科　情報　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】情報に関する科学的な見方･考え方を働かせ，情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】問題の発見･解決に向けて，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第４章　情報通信ネットワークとデータの活用 ・情報通信ネットワークのしくみ	IDとパス　印刷　共有フォルダへの保存　Oneドライブへの保存　フリーメールとGmailアカウント登録　iPadを使用　名前記入、シリアルNo確認、iPadの使い方、Wi-Fi接続、appleIDの登録と確認 Google Chromeのインストール　Office365とTeamsのインストール　ストレージ容量、携帯を使ってWi-Fi接続　Office365のアカウントログイン	・パソコン室、個人端末、スマートフォンとの連携がとれるか。 ・ファイルやデータの管理ができるか ・メールや共有フォルダ、投稿など情報データの入出力が自在にできるか	○		○	10
	・情報システムとデータ管理 ・データの分析と活用	Teamsの使い方 Teamsのインストールと使い方　Google Chromeのインストール、検温システム、オンライン受講、課題の受取、Form送信 毎日パソコンタイピング入力(オンライン)　メール、情報の収集と整理 タイピング、共有とクラウド環境、オンライン英語教材(英検CAT、ABlish)、	・課題をオンラインで受講し、課題提出できるか。 ・オンラインソフトの活用ができるか。必要な情報のみを抽出して活用できるか。	○		○	15
	第１章　情報社会の問題解決 ・情報の活用 ・情報モラル	メール、コミュニケーション、データ活用 教科学習　個人情報保護、SNSとモラル	情報に対する正しい判断力があるか 必要な情報を取り出し生かせることができるか。	○	○	○	10
2学期	・情報に関する法規や制度	肖像権、知的財産権、著作権、 iPadの活用(各種検索)、Teamsの活用(Class Notebookを使っての提出、Oneドライブの共有)	簡単な表計算、プレゼンテーション、文書作成をおこない、クラスノートブックとの連携をはかる。	○	○	○	10
	第2章　コミュニケーションと情報デザイン ・コミュニっケーション手段の特徴 ・情報デザイン ・コミュニケーションと効果的なデザイン	iPadの活用(各種検索)、Teamsの活用(Class Notebookを使っての提出、Oneドライブの共有) 効果的に情報を伝えるためのメディアを作成する。	ピクトグラム、ユニバーサルデザインなど作成物で評価する。、	○	○	○	10
3学期	第3章　コンピュータとプログラミング ・コンピュータのしくみと働き ・モデル化とシュミレーション ・プログラムと問題解決	webページ作成、プログラミング（ブラウザ）、画像加工、Adobe Creative Cloud Express、2進数と16進数	ブラウザによるパイソンを中心としてプログラミングを行う。 課題解決にプログラミングをどのように利用していくか	○	○	○	15 合計 70

府中西　高等学校 令和6年度（１学年用）　教科　　日本語　科目　日本語基礎

教　科：　日本語　　科　目：　日本語基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　組～　4 組

使用教科書：（　　）

教科　日本語　　の目標：

【知識及び技能】	日本語科目設置の意図に鑑み、海外での学習経験や母語で獲得した能力の上に高等学校での学習の基盤となる基礎的な知識技能の定着を図りつつ、生涯にわたる社会生活に必要とされる高度な日本語を目的や場面、状況などに応じ、言語やテクストの特徴や仕組みを分析的に捉えつつ、それらを効果的に活かして適切に運用するための知識技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	日本語でコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活や社会生活にかかわる話題、あるいは、日本語科目設置の意図に鑑み、海外での学習経験や母語で獲得した能力の上に高等学校の学習に関わる話題について、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり、言語文化の差異に対する理解を深め、主体的に日常生活及び社会生活で直面する様々な困難や課題をあらゆる形態の言語コミュニケーションを介して解決しようとする態度を養うとともに、様々な日常生活及び社会生活に関わる話題に関心を持ち、海外での学習経験や母語で獲得した能力を援用させながら自らの見識を深めようとする態度を養う。

科目　日本語基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①文体や内容、構成に合わせて工夫して文章を読むことができる。 ②教科学習や単元のテーマに即して、書き言葉で頻繁に用いられる表現を理解し、適切に用いることができる。 ③日本語の基礎的な語彙・漢字を正確に書き表すことができる。（補助教材を用いて年間を通して課題・小テストをとおして指導を行う。）	①文章を読んで得た知識や情報を既有知識と統合して自己内の概念を更新したり、課題に応じて情報を取捨選択することができる。 ②得た情報を過不足のなく論理的に首尾一貫した文章に書き表すことができる。 ③単元の学習を通して得た知識及び技能を活用して、課題に応じた語彙や表現を用いて学習の成果を表現することができる。	①単元の学習において、相互に助言したり改善点を指摘しあうことを通して、適切に伝わり、心情に配慮したコミュケーションが取ることができる。 ②単元の学習を通して、他者との関係性を構築し、自力で課題を乗り越えられない場合には他者の援助を自ら求め粘り強く課題に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	単元：動物と植物の違い						
	・「動物と植物の違い」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「動物と植物の違い」に関するブレインストーミング					1
		・「動物と植物の違い」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。		○		
			・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。		○		
	・植物と動物の「栄養の取り方の違い」に関する文章を読み、違いを理解する。	・植物と動物の違いに関する文章を読み、動物はほかの生物から、植物は自ら栄養を生成すること理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
			・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
	・植物と動物の違いについて「違いを表す表現（～に対して）」や「恒常性を表す表現（ている）」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		1
	・動物と植物の「栄養の取り方」について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・「動物と植物の違い」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。		○		
	・植物と動物の「からだの構造の違い」に関する文章を読み、違いを理解する。	・植物と動物の違いに関する文章を読み、動物と植物の構造の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			
			・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
	・植物と動物の違いについて「違いを表す表現（一方）」や「例を挙げる表現」、「変化を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		1
	・動物と植物の「からだの構造の違い」について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・「動物と植物の違い」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。	・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
		・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。	・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		・600字程度で作文を執筆する。	・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。		○		
			・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。	○			
			・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。		○		
			・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。		○		
			・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。		○		
			・「動物と植物の違い」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。	○			
	単元：熱中症						
	・「熱中症」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「熱中症」に関するブレインストーミング					1
		・「熱中症」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。		○		
			・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。		○		
	・熱中症の症状に関する文章を読み、それぞれの特徴を整理する。	・熱中症の症状に関する文章を読み、症状と危険度と対処法を理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
			・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
	・熱中症について「原因や手段を表す表現（で・によって）」や「書き言葉でよく使われる表現（連用中止）」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、熱中症の症状について簡潔に説明することができる。		○		
	熱中症について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		･文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・「熱中症」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。		○		
	・汗と血液の関係に関する文章を読み、違いを理解する。	・汗と血液の関係に関する文章を読み、動物と植物の構造の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			
			・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
	・汗と血液の関係について「詳しく説明する表現（名詞修飾）」や「客観的な事実を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		
	・動物と植物の「からだの構造の違い」について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		･文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
	・「熱中症」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。	・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
		・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。	・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		・600字程度で作文を執筆する。	・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。		○		
			・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。	○			
			・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。		○		
			・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。		○		
			・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。		○		
			・「熱中症」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。	○			

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
単元：未成年者の飲酒禁止						
・「子どもの飲酒禁止」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「子どもの飲酒禁止」に関するブレインストーミング					1
	・「動物と植物の違い」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。		○		
		・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。		○		
・植物と動物の「子どもの飲酒禁止」に関する文章を読み、違いを理解する。	・「子どもへのアルコールの影響」に関する文章を読み、予期される悪影響を理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
		・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			
	・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
・「子どもの飲酒禁止」について「仮定の話をする表現」や「文章構成（序論・本論・結論）」などの知識を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
	・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		
・「子どもへのアルコールの影響」について、プロセスを明確しながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
		・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
	・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・「動物と植物の違い」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。		○		
・「からだの発達とアルコール」に関する文章を読み、違いを理解する。	・「からだの発達とアルコール」に関する文章を読み、アルコールが分解される仕組みを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
	・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			
		・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
・「急性アルコール中毒」について「可能性を表す表現」や「順番を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
	・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		
・「からだの発達とアルコール」について、働きや仕組みについて簡潔に300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
		・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
	・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
・「子どもの飲酒禁止」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。	・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
	・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。	・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
	・600字程度で作文を執筆する。	・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。		○		
		・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。	○			
		・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。		○		
		・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。		○		
		・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。		○		
		・「子どもの飲酒禁止」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。	○			
単元：地球温暖化						
・「地球温暖化」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「地球温暖化」に関するブレインストーミング					1
	・「地球温暖化」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。		○		
		・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。		○		
・地球温暖化の3つの影響に関するに関する文章を読み、特徴を整理する。	・地球温暖化に関する文章を読み、海の変化と地域による影響の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
		・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			
	・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
・地球温暖化について「変化を表す表現」や「原因を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
	・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	・地球温暖化の「定義」と「影響」について、資料を見て、300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・「地球温暖化」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。		○		
	・白神山地に関する文章を読み日本の森林がどのような問題に直面しているかを理解する。	・地球温暖化に関する文章を読み、気候と自然の関係の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			
			・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
	・地球温暖化について「違いを表す表現（一方）」や「例を挙げる表現」、「変化を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		
	・地球温暖化と自然環境について、関係を明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		
	・「地球温暖化」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。	・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
		・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。	・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	
		・601字程度で作文を執筆する。	・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。		○		
			・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。	○			
			・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。		○		
			・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。		○		
			・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。		○		
			・「地球温暖化」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。	○			
	・「動物と植物の違い」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「動物と植物の違い」に関するブレインストーミング					1
		・「動物と植物の違い」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。		○		
			・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。		○		
	・植物と動物の「栄養の取り方の違い」に関する文章を読み、違いを理解する。	・植物と動物の違いに関する文章を読み、動物はほかの生物から、植物は自ら栄養を生成すること理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
			・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			1
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		1
	・植物と動物の違いについて「違いを表す表現（～に対して）」や「恒常性を表す表現（ている）」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		1
	・動物と植物の「栄養の取り方」について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	1
		・文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・「動物と植物の違い」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。		○		1
	・植物と動物の「からだの構造の違い」に関する文章を読み、違いを理解する。	・植物と動物の違いに関する文章を読み、動物と植物の構造の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			1
			・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		1
	・植物と動物の違いについて「違いを表す表現（一方）」や「例を挙げる表現」、「変化を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	・動物と植物の「からだの構造の違い」について、違いを明確にし、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	1
	単元：バイオテクノロジー						
3学期	・「バイオテクノロジー」に関する文章を600字くらいで書き、生徒個人がこのユニットの課題をつかむ。	・「バイオテクノロジー」に関するブレインストーミング					1
		・「バイオテクノロジー」に関する600字程度の作文執筆	・わからない言葉を母語や簡単な表現を用いて説明ができる。		○		
			・作文後の振り返りに不明点や疑問点を記載している。		○		
	・遺伝子組み換え技術に関するに関する文章を読み、特徴を整理する。	・遺伝子組み換え技術に関する文章を読み、海の変化と地域による影響の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
			・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			1
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		1
	・遺伝子組み換え技術について「変化を表す表現」や「原因を表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		1
	・遺伝子組み換え技術について、資料を見て、300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	1
		･文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・「バイオテクノロジー」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。		○		1
	・遺伝子組み換え技術の利点に関する文章を読み日本の森林がどのような問題に直面しているかを理解する。	・遺伝子組み換え技術の利点に関する文章を読み、気候と自然の関係の違いを理解する。	・単語リストを見たり、分からない言葉を調べたりすれば、文章の内容が理解できる。	○			1
		・文章から必要な情報を探索し、差異を比較しながら整理する。	・文章を読む目的を明確にし、文章の構成を手掛かりにしながら必要な情報を探すことができる。	○			1
			・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		1
	・遺伝子組み換え技術の利点について「実現が困難であることを表す表現」を用いて説明できる。	・例文を参考に短作文や空欄補充の文法問題を行う。	・文法規則に従って短作文をしたり、文を完成させることができる。	○			1
		・短い文章を読み、指定された文法項目を用いて回答する。	・適切に文法表記に従い、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記しつつ、動物と植物の違いについて簡潔に説明することができる。		○		1
	遺伝子組み換え技術の利点を、例をあげながら300字程度説明する文章を書くことができる。	・再度文章を読み、要点のメモを作成し、口頭で内容を説明する。内容の過不足や説明の仕方について相互に評価しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
			・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	1
		･文章の内容を書く順番や表現などを考えながら文章を書く。	・文章を要約して簡潔に説明することができる。		○		1
	・「バイオテクノロジー」に関する文章を600字くらいで書き、このユニットで学んだことを整理し、文章にまとめる。	・再度第1回の作文をペアで読み、改善点を指摘しあう。	・作文や発表において他者から受けた指摘を改善しようとしている。			○	1
		・指摘された改善点を踏まえて、再度作文の構想メモを作成する。	・さらに、他者の指摘を受けて、自分で改善点を見つけ改善しようとしている。			○	1
		・601字程度で作文を執筆する。	・文章を書く際に、科学の基本的な用語や共起する語を適切な語彙を選択し正確に表記することができる。		○		1
			・文章を書く際に、段落や句読点などを適切に使用することができる。	○			1
			・よりよい表現はあるが、自分の言いたいことを首尾一貫させて述べることができる。		○		1
			・わからない言葉があっても違う言葉で説明ができる。		○		1
			・簡単な表現が多いが、自分の言いたいことをはっきりさせて文章を書くことができる。		○		1
			・「バイオテクノロジー」について説明文を科学に関する文章の表現や形式を適切に用いて書くことができる。	○			1
							74

年間授業計画　新様式

府中西　高等学校 令和6年度（ １学年用）　教科　総合的な探究の時間　科目　人間と社会

教　科：　総合的な探究の時間　　科　目：　人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１組：坂本）（２組：尾本）（３組：相馬）（４組：小池）（５組：川北）（６組：木須）（７組：吉田）（８組：足立）

使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版教科書　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○学年集会において、学校生活、進路に関する話を聞き、理解する。 ○自分のクラスについて理解する。 ○校外学習について理解する。 ○ＳＴＡＲＴの目標について理解する。	オリエンテーション 各クラスでの交流 校外学習ガイダンス					4
	○学校行事について理解する。 ○「学ぶ意義」について考える。 ○「文化の多様性」について考える。	学校行事ガイダンス 教科書「第２章」演習 教科書「第１６章」演習					4
	○進路概況、進路活動について理解する。 ○地域防災についえ考え、理解する ○探究活動の方法について学ぶ ○職業意識を醸成する	進路の手引きガイダンス 地域防災訓練 探究活動ガイダンス 進路ガイダンス					4
	○選択科目についての説明を聞き、理解する。 ○文理選択についての説明を聞き、理解する。 ○進路選択について考える。	選択科目ガイダンス					3
2学期	○探究活動により、研究発表の準備を行う。 ○「チームを動かす力」について考える	探究活動の指導 教科書「第８章」					5
	○自分の職業及び学問分野について考える	進路ガイダンス					5
3学期	○探究発表を行う ○「グローバル化が進展する社会」について考える	探究活動の指導 教科書「第１７章」					5
	○進路に関して、校種及び分野を決定する。	進路ガイダンス					5
							合計 35